

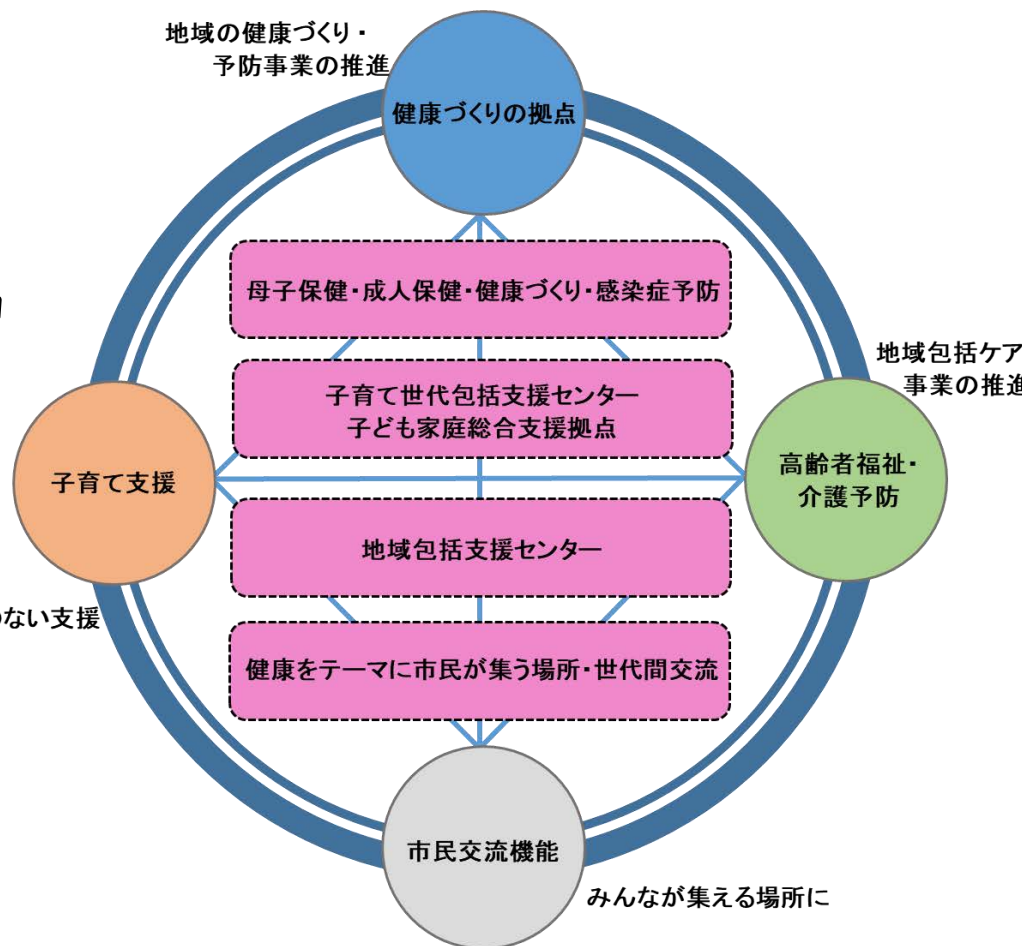
新保健福祉施設のコネクト

基本理念

市民が生涯にわたり健康で安心して暮らし続けるための支援拠点

施設には保健センターを中心に、
子育て窓口、高齢福祉窓口、社会福祉協議会、地域包括支援センター、
市民交流機能（3F）が入ります！

妊娠期から子育て期
における切れ目のない支援



【新保健福祉施設イメージ】

新保健福祉施設ってどんなところ？



建設予定地(市役所東側)
敷地面積：2,442.32㎡

／ 済生会健診センターと同じくらいだよ ／

予定延床面積：約2,700㎡

【階別の主な機能】

1階 市民窓口エリア (約1,200㎡)

北側：福祉窓口（行政）、社会福祉協議会、地域包括支援センター
南側：健康窓口、子育て窓口（行政）

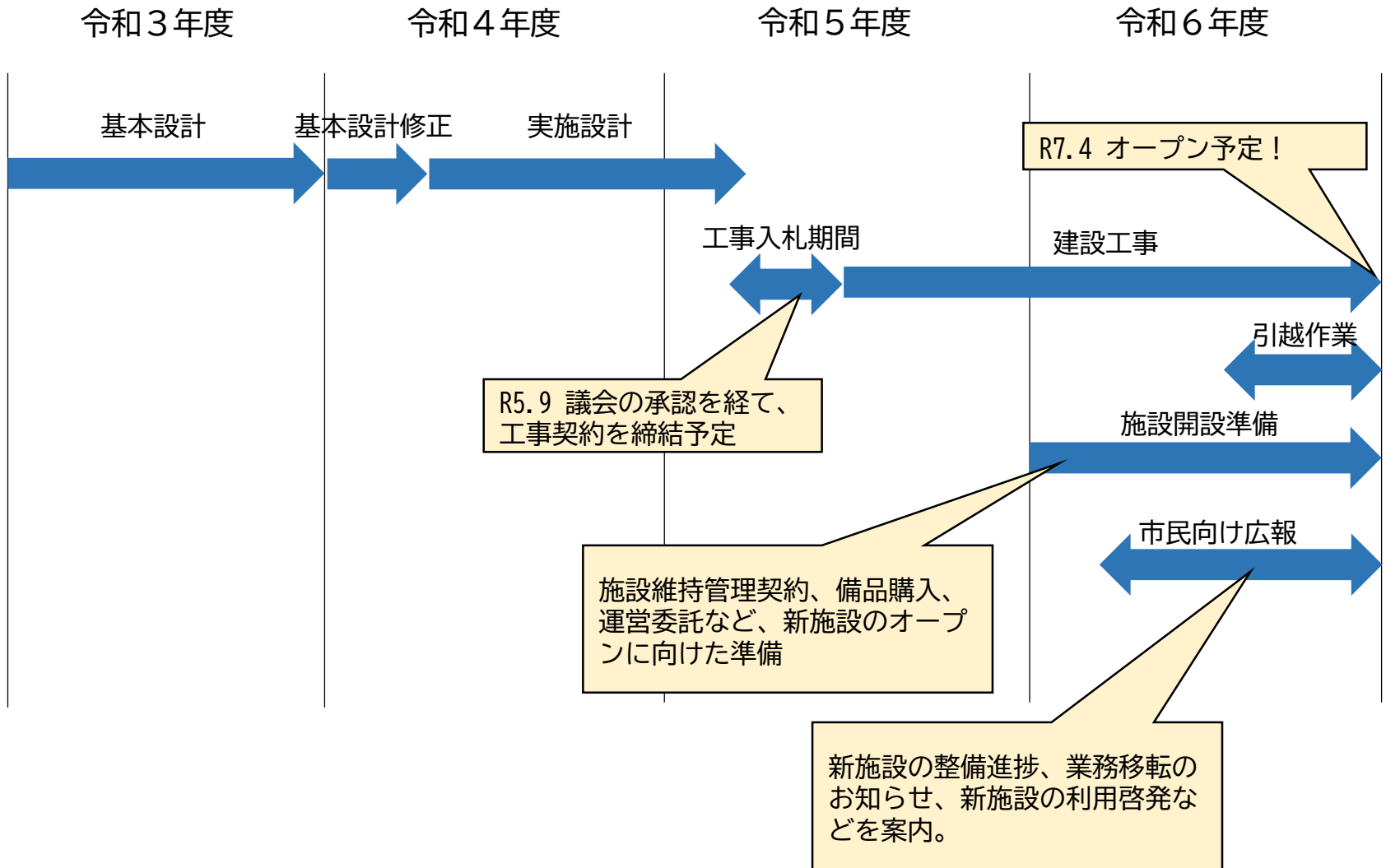
2階 保健福祉エリア (約750㎡)

健診スペース、健診待合ロビー、プレイルーム、おひさまクラブ

3階 市民交流エリア (約750㎡)

市民交流スペース、大会議室（2室）、小会議室（3室）、栄養実習室

事業スケジュール



福祉サービスの一元化を目指し、新施設建設と合わせて、庁内組織の改編も検討。社会福祉協議会・地域包括支援センターも福祉エリアに入居予定。



福祉エリア

プライバシーに関わる相談事項にも対応するため、小さめの相談ブースを4部屋設置。

市役所のお堅いイメージではなく、和やかな雰囲気の中、市政情報等に気軽に触れられるような空間を目指す。



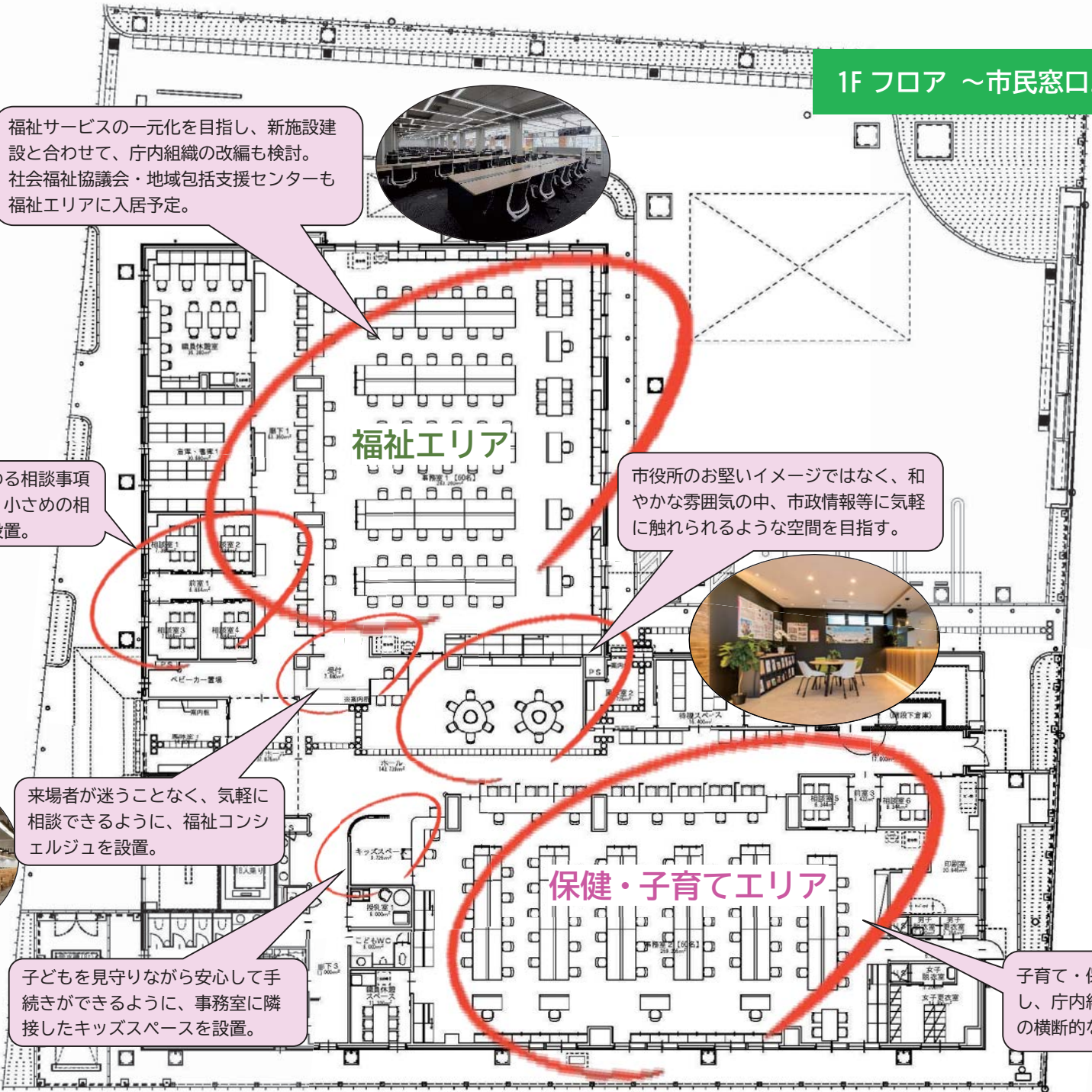
来場者が迷うことなく、気軽に相談できるように、福祉コンシェルジュを設置。

子どもを見守りながら安心して手続きができるように、事務室に隣接したキッズスペースを設置。

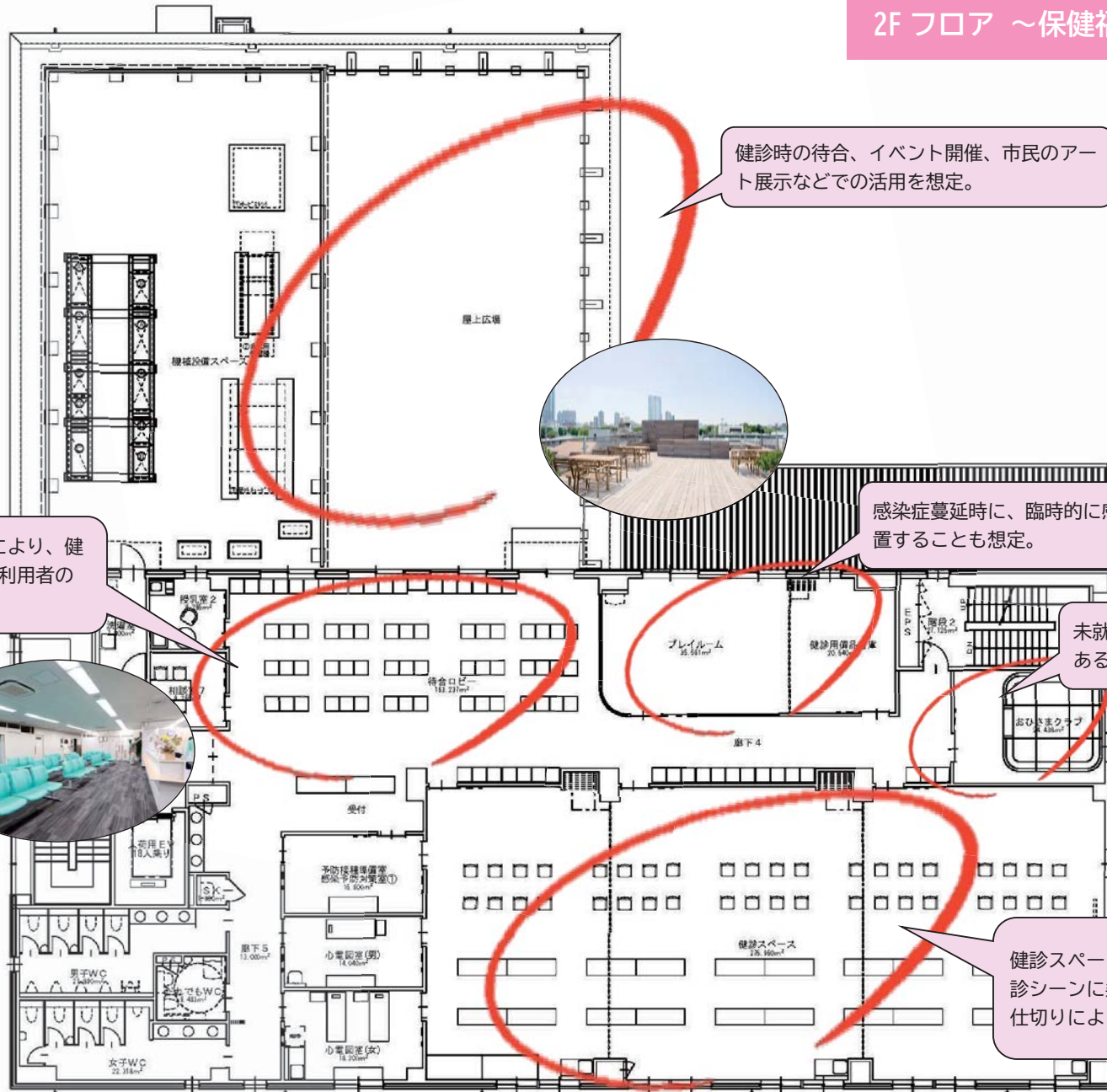


保健・子育てエリア

子育て・保健サービスの充実を目指し、庁内組織を改編し、利用者目線の横断的な行政サービスを目指す。



2F フロア ~保健福祉エリア~ 748.00 m²



健診時の待合、イベント開催、市民のアート展示などでの活用を想定。



感染症蔓延時に、臨時的に感染症対策部署を設置することも想定。

待合スペースの拡充やTV設置などにより、健診時の待合環境の充実を図り、健診利用者の満足度を高める。



未就学のお子さんの発達面や行動面で心配事がある方向けに、専用個別相談スペースを用意。



健診スペースは、成人健診・母子健診等の各種健診シーンに柔軟に対応するため、大空間を可動間仕切りにより3部屋に分割できる仕様とする。

施設予約や備品貸出などを考慮し、受付兼事務所を設置して有人管理を行う。
民間事業者の管理運営を予定しており、各種イベント・講座を展開予定。

学生や市民が予約不要で集まり、自然と創作意欲が湧くような多世代交流空間。
テレワーク、中高生の居場所づくり、高齢者の生きがいづくりなど、用途を特定せずに、市民が親しみを持って過ごすことのできる空間を目指す。

6～10名程度の会議室利用の需要が高いことを想定し、小さめの会議室を3室配置。
従来の会議室よりも開放的で発想力が湧いてくるような仕様とする。
※市民への貸出し（有償）も想定。



保健センターの食育指導での利用に限定せず、空き時には市民がキッチンスタジオとして利用できるようにデザインや照明にも配慮。
※市民への貸出し（有償）も想定。

介護予防教室、ダンスレッスン、エアロビクス教室などの健康活動のほか、学生の吹奏楽練習やキッズダンスなどの利用を想定し、防音の多目的スタジオを設置。大人数の会議も可能。
可動間仕切りにより、2室に分割可。
※市民への貸出し（有償）も想定。

◎開館時間は朝9時から夜9時まで（3階のみ）

◎土日も開館（3階のみ）

◎多目的スペースは飲食自由